

農作物の生育状況（8月1日現在）

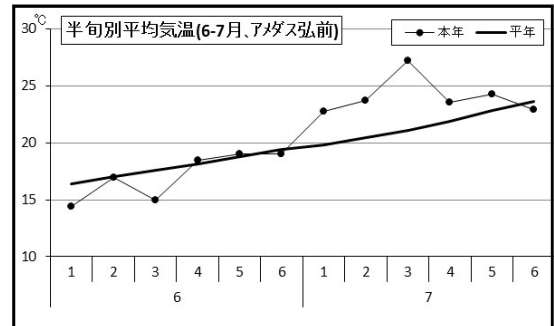
中南地域県民局地域農林水産部

1 気象

7月1～31日の平均気温は平年に比べ2.4℃高かった。降水量は平年比109%、日照時間は平年比124%となった。

8月2日に平年より5日遅れで梅雨明けとなった。

7月22～23日の大雨で、平川市の高冷地野菜で被害があった。



2 水稻

7月15日現在の「つがるロマン」の生育は、平年に比べて草丈は長く、茎数は多く、幼穂形成期は1日程度早かった。

出穂は平年並に経過しており、出穂始めは平年並の8月2日頃と予想される。

3 大豆

5月下旬～6月上旬は種のは場では、平年並の7月27日頃から開花期に達している。

4 りんご

弘前市独狐のふじの肥大(横径)は6.5cmで平年(6.0cm)を上回っている。

仕上げ摘果はほぼ終了し、見直し摘果、草刈、徒長枝の剪去、支柱入れ等が行われている。

5 ぶどう(スチューベン)

肥大は概ね順調であり、摘粒作業が終盤となっている。

6 もも(川中島白桃)

平川市新館の果実横径は6.0cmで平年(5.3cm)を上回っている。

袋かけはほぼ終了し、早生種の収穫が始まっている。

7 トマト

主力作型の5月上～中旬定植は、4～5段果房が収穫期となっている。高温の影響で、7月末の収穫量は例年に比べ多くなった。

8 高冷地野菜

にんじん、だいこんは、平年より3日程度生育が遅れていたが、肥大、生育は概ね順調で、7月中旬から収穫が始まっている。

スイートコーンの生育は順調で、例年並みの8月5日頃から収穫が始まる見込みである。

9 花き

キクの盆用出荷作型では、例年並みの8月5日頃から収穫が始まる見込みである。

トルコギキョウの4月定植作型では、例年並みの7月下旬から収穫が始まった。